

図書館員のひみつの本棚 第167回

今月ご紹介する本の収益は、東京子ども図書館の東北支援「3.11 からの出発」の活動資金となります。(『こどもとしゃかん 2012年春号』東京子ども図書館 より)

『うれしいさん かなしいさん』

まつおか きょうこ/さく・え 東京子ども図書館 2012年 ¥1000(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 低学年☆☆☆ 中学年☆ 高学年—— 中学生——
高校—— 一般——

(☆が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

あるところに“うれしいさん”がいました。朝起きると、天気がよいので嬉しくなって公園に行こうとしたのですが、玄関で頭をぶつけて“かなしいさん”になってしまい、でも、親切なおばさんが優しくしてくれて、また“うれしいさん”に…。

あるところに“かなしいさん”がいました。朝、雨が降っていたので悲しんでいたのですが、郵便で素敵なプレゼントが届いて“うれしいさん”に。でも、プレゼントの本が悲しい話で、また“かなしいさん”になってしまい…。

この本は、前から“うれしいさん”、後ろから“かなしいさん”のお話が始まって、真ん中で二つのお話が出会います。

<子どもに手渡す時のポイント>

東京子ども図書館の松岡享子氏の手作りぬいぐるみから生まれた絵本。

簡単なストーリーですが、聞いていると、いつの間にか笑顔になるおはなしです。

前から読んで、後ろから読んで、真ん中で出会うという面白い作りになっているので、読み聞かせのプログラムに入れても楽しんでもらえます。私は、前からうれしいさんの話を読んで、一旦本を閉じ、今度は後ろからかなしいさんの話を読み、最後に真ん中の観音開きのページを読むとスムーズに読めました。子どもたちも楽しんでくれました。5分程度で読めます。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。

ぜひ手にとってみてください。